

研究課題名：中国共産党と社会の「対話」の場としての集団抗議運動

所属：GR

氏名：伊藤淑美

・研究概要

本稿の目的は、現代中国において集団抗議運動が果たす役割を明らかにするものである。具体的には、国内で発生する集団抗議運動が中国共産党政権の安定に貢献している点を指摘する。このためには、体制の「安定」について定義付けを行い、現在の中国共産党の一元体制が安定を得ているという点を確認する。次に、国内で発生する集団抗議運動を抗議の対象・目的・内容により分類し、それに対する共産党政権の対応を整理する。以上の作業により、中国の政治指導者が集団抗議運動に対し抑圧と懐柔を相互に用いて国内を統治している点を明らかにする。

・具体的な成果

今回申請した研究費は、本来中現地調査のための費用であったが、2014年度秋学期より、調査対象である中国への留学が決定したために、文献および機器に使用した。具体的には、現地調査に使用するためのデジタルカメラおよびパソコンを購入した。これらは、街頭で発生する集団抗議運動を記録することに役立った。加えて、中国とその他の国で起こる社会運動を比較するために、これらに関して多くの文献を収集した。

森泰吉郎記念研究振興基金による研究支援で、本研究では中核的な部分となる集団抗議運動を広く観察するための基盤ができた。